

基本方針

墨田区文化振興財団は、区内における文化芸術活動の振興と時代に即応した芸術文化の創造及び発信を行い、区民生活の向上と文化都市の形成に寄与することを目的として、平成8年に設立し、墨田区音楽都市構想の実現に向けて、一翼を担っている。

設立以来、新日本フィルハーモニー交響楽団(以下「新日本フィル」という。)と連携しながら、すみだトリフォニーホールでの音楽事業や区内全域におけるアウトリーチ活動を展開しているほか、平成28年には、すみだ北斎美術館の指定管理を受託し、すみだの世界に誇る「北斎」を紹介する展覧会を中心に事業を積極的に推進している。さらに、平成30年度からは地域における文化芸術活動の支援事業として、区民をはじめ幅広い文化の担い手の活動を支援すべく助成や情報発信等を行うなど、あらゆる世代の区民が芸術文化を等しく享受できる地域社会の実現を目指している。

令和6年度は、すみだトリフォニーホール及びすみだ北斎美術館の当期指定管理4年目にあたり、指定期間の折り返しを過ぎたことから、各事業及び施設の管理運営におけるこれまでの成果と課題を整理し改善を進め、様々な事業を展開していく。また、令和6年度中には、両施設の次期指定管理の事業者選定が行われる見込みのため、引き続き受託できるよう、開設時から運営を担ってきた経験やノウハウを活かし、今後の管理運営の在り方を含めた様々な提案を区に積極的に行っていく。

以上の点を踏まえ、令和6年度の当財団の運営及び事業については、次の各項目を基本に実施する。

- すみだトリフォニーホールでは、これまで以上に区、ホール、新日本フィルが三位一体となって様々な社会的課題の解決に向けた様々な試みを展開していく。令和6年度は、新日本フィル楽団員による音楽療法を取り入れたアウトリーチの取組みや、区が令和8年度に開催する総合的芸術祭に向けたキックオフ公演など、多彩な事業を展開する。さらには幅広い世代がクラシックを中心とした多彩なジャンルの音楽に触れる機会を創出するとともに、すべての区民が音楽を身近に感じられる取組みを推進する。
- すみだ北斎美術館では、令和6年から流通する新紙幣に用いられる「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」を中心に展示する「北斎 グレートウェーブ・インパクト」展をはじめ4回の企画展を開催し、国内外から多くの来館者を集客していく。また、「常設展プラス」における立ち読みコーナーの設置など、見せ方に工夫を凝らすことで、来館者のより一層の興味を喚起する。さらには来館者の裾野を広げる教育普及活動や、近隣施設や団体とのネットワーク構築による事業を継続的に展開していく。
- 両施設で行う事業のほか、区内全域で多彩なアウトリーチ活動や教育普及活動を実施し、学校や文化団体等と連携しながら、地域における文化芸術活動の活性化を図る。
- 区民による文化芸術活動を支援し、助成事業や情報収集・提供事業を推進するとともに、地域で起きている様々な文化的事象を把握し、文化芸術振興に関する相談に応じて必要な情報を提供し、場と人材をつなぐ中間支援組織としての役割を強化していく。

- 公益財団法人として、安定した財政運営のもとで、更なるガバナンスの強化とコンプライアンスの推進に努めるほか、区及び区民の文化芸術振興を担う団体として専門性の向上を図るため、組織力及び職員の能力の向上に努めていく。

事業体系

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

- 1 音楽等の鑑賞機会の提供
- 2 区民の音楽活動の普及啓発・育成
- 3 区民の音楽活動の参加機会提供・支援
- 4 トリフォニーホール区民モニター制度
- 5 戦略的な広報活動と多彩なコミュニケーションツールを活用した情報発信
- 6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

- 1 資料収集・保管事業
- 2 調査研究事業
- 3 展示事業
- 4 教育普及事業
- 5 図書室運営事業
- 6 施設の機能向上・貸出し、維持管理に関する業務

III 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

- 1 すみだ文化芸術活動助成事業
- 2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営
- 3 文化政策及び文化事業に関する調査
- 4 アートプロジェクト等の推進事業
- 5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

I すみだトリフォニーホールを核とする音楽等の振興事業

当ホールは、東京東部の芸術文化の創造・発信拠点として、フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルハーモニー交響楽団との連携・協力により、多彩な自主・協働企画事業を行っている。令和5年度から新日本フィルの音楽監督に佐渡裕氏が就任し、これまで以上に区、ホール、新日本フィルが三位一体となり、教育機関、福祉施設、関係団体等と連携した地域における音楽活動を積極的に実施することで、幅広い世代が芸術に触れる機会を創出し、より一層の地域力の向上に努めていく。

音楽事業推進補助事業については、令和4年度より新日本フィル楽団員による音楽療法を取り入れたアウトリーチの取り組みや、休日部活動の地域移行を見据えた区立中学校吹奏楽部への指導を段階的に進めるなど、フランチャイズ制度を十分に活かした先進的な試みをスタートさせ、継続して実施している。またあらゆる区民が本格的なパフォーマンスを低廉な区民割引価格で鑑賞できるような公演や日頃ホールを訪れにくい人達向けに公開リハーサルの実施など、ホールを地域に開き身近に感じる機会を設けていく。令和6年度も、大ホールのシンボルである国内最大級のパイプオルガンを積極的に活用した鑑賞事業をはじめ、子供から大人まで、多くの区民が自ら演奏を体験する多彩な取り組みを強力に推進していく。

令和3年度にスタートしたトリフォニーホール区民モニター制度は、現在登録者が300名を超え、様々な評価や意見・要望をもとに各種事業のみならず、トリフォニーホールの存在が墨田区にどのような効果をもたらしてきたのかといったアウトカムの評価に至るまで、幅広い観点から様々な調査分析を行っている。令和6年度も、引き続きモニター制度を活用した区民意見の反映を進め、より良い音楽等の事業を展開していく。

こうした事業展開に加えて、「音楽が息づくまち」として区民にもっとホールを知ってもらい、気軽に足を運んでもらうための広報活動を戦略的に展開する。商店街など区内の様々な組織が持つ強力なネットワークを活かして、錦糸町をはじめ、墨田区内全域で地域社会との協力体制を構築し、公演内容やラインナップの情報に加えて、最良の音響特性や建築の特徴、パイプオルガン、アート作品など、ホールの独自性や優位性となる特色を積極的に発信していく。

施設運営においては、優れた音響特性を堅持し、質の高い安全・快適な施設運営に努める。施設の老朽化が進む中、定期的な保守点検と計画修繕を行い、施設・設備の安全管理を徹底し、すべての利用者に安心・安全なホールを提供していく。

以上の点を踏まえ、令和6年度のすみだトリフォニーホールの事業については、以下の項目に沿って実施する。

1 音楽等の鑑賞機会の提供

すみだトリフォニーホールの大ホールを主な会場として、フランチャイズ・オーケストラである新日本フィルハーモニー交響楽団を活用した事業、あらゆる区民に届ける鑑賞公演、世界的アーティストによる芸術性の高い公演、大ホールのシンボルであり区民の財産であるパイプオルガンを活用した公演などを実施する。

また、鑑賞公演とともに親しみやすいプログラムの関連企画を実施し、区民の鑑賞機会の充実を図る。

■フランチャイズ・オーケストラ活用主催公演(5事業5公演)

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	<p>【名称】渡辺貞夫 meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>【時期】2024年5月1日(水)</p> <p>【企画趣旨】日本ジャズ界の第一線で活躍し続けるレジェンド、渡辺貞夫と新日本フィルとのスペシャル・コラボレーション公演を大盛況となった昨年に続き実施する。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	村田陽一(予定)
		出演者	渡辺貞夫[サクソス] 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	第1部 渡辺貞夫グループ 第2部 渡辺貞夫 meets 新日本フィル
		料 金	S席 10,000円、A席 8,000円 すみだ区割 7,500円(25%Off) すみだ学割 1,000円
2	<p>【名称】ホルスト「惑星」～愛しの地球よ、さらば！ボイジャー宇宙航海の旅へ～</p> <p>【時期】2024年7月7日(日)</p> <p>【企画趣旨】ホルストの組曲「惑星」に、8番目の新作楽章「ボイジャー」を追加作曲し、世界初演として披露。地元企業と連携し、まちの魅力やホールの認知度をより一層高め、新日本フィルとともに、音楽を通じて「すみだ」を発信する。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	シズオ・Z・クワハラ
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	ホルスト/組曲「惑星」全曲 ほか
		料 金	S席 6,000円、A席 5,000円 すみだ区割 4,500円(25%Off) すみだ学割 1,000円
3	<p>【名称】下野竜也プレゼンツ！ 音楽の魅力発見プロジェクト第11回 変な納涼コンサート～真夏に聞く冬の音楽～</p> <p>【時期】2024年8月17日(土)</p> <p>【企画趣旨】区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらうシリーズ企画の第11回。毎回好評なレクチャー付きコンサートとして実施する。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	(予定) ヴィヴァルディ/四季より「冬」 一柳慧/ピアノ協奏曲 第2番「冬の肖像」 ほか
		料 金	全席指定 4,500円 すみだ区割 3,600円(20%Off) すみだ学割 1,000円
4	<p>【名称】アヴィシャイ・コーエン meets 新日本フィルハーモニー交響楽団</p> <p>【時期】2024年10月5日(土)</p> <p>【企画趣旨】イスラエルジャズを世界に知らしめた鬼才ベース奏者と新日本フィルによる唯一無二の比類なき音楽世界に酔いしれることができる企画。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	調整中
		出演者	アヴィシャイ・コーエン[ベース] 新日本フィルハーモニー交響楽団
		演 目	アヴィシャイ自身が作曲したコンテンポラリーなジャズからワールド・ミュージック、オーケストレーションされた伝統的なヘブライ語やラディーノの歌、クラシック作品を予定
		料 金	全席指定 11,000円 すみだ区割 8,800円(20%Off) すみだ学割 1,000円

NO	名称／時期／対象／企画趣旨	内 容	
5	【名称】 すみだ平和祈念音楽祭 2025 【時期】 2025年3月予定 【企画趣旨】 ホールブランドを高め、区民にホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。関東大震災及び東京大空襲で甚大な被害に遭った墨田区において、開館以来回数を重ねてきた平和の祈りを音楽で発信するコンサート。 【関連企画】 2025年3月8日(土) ・平和祈念コンサート（区役所1階アトリウム）	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	下野竜也(予定)
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	調整中
		料 金	S席 6,000円 A席 5,000円 すみだ区割 4,800円(20%Off) すみだ学割 1,000円

■様々な区民を対象とする公演（9事業 10公演）【音楽事業推進補助事業】

NO	名称／時期／対象／企画趣旨	内 容	
1	【名称】 みんなで楽しむオーケストラ 【時期】 2024年9月11日(水) 2公演 【企画趣旨】 区民を対象に、ホールや新日本フィルを身近に感じてもらう企画。普段コンサートホールで音楽を聴く機会の少ない方々を中心に、誰もが音楽を楽しめる公演として実施する。これまでの誰でもコンサート、リラックス・コンサートのそれぞれの利点や課題を整理し、よりみんなで楽しむことができる、シームレスな仕組みにカスタマイズする。2回公演を予定。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	和田一樹[指揮]
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	調整中
		料 金	一般 2,000円 すみだ区割 1,600円(20%Off) 未就学児無料 障害者無料
2	【名称】 ブラック・ダイク・バンド 【時期】 2024年11月2日(土) 【企画趣旨】 英国で160年以上の伝統を持ち、世界的に有名なブリティッシュ・スタイルの最高峰のバンドで、音楽的技術だけでなくも人々に深い感動を与える演奏を繰り広げている。5年ぶり待望の来日公演。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	調整中
		出演者	ブラック・ダイク・バンド
		料 金	S席 6,000円 A席 5,000円 すみだ区割 4,800円(20%Off) すみだ学割 1,000円
3	【名称】 トン・コープマン チェンバロ&オルガン・リサイタル 【時期】 2024年11月9日(土) 【企画趣旨】 バロック・オルガンの巨匠、またチェンバロ、指揮者としても世界最高峰のトン・コープマンによる芸術に触れられる企画であり、チェンバロもオルガンもどちらも披露する。どちらも第一人者であるコープマンならではの企画である。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	トン・コープマン[オルガン&チェンバロ]
		演 目	調整中
		料 金	S席 4,500円 A席 4,000円 すみだ区割 3,600円(20%Off) すみだ学割 1,000円
4	【名称】 坂東玉三郎「隅田川」とお話 【時期】 2024年11月23日(土祝) 【企画趣旨】 歌舞伎の女形の最高峰で人間国宝の坂東玉三郎による、墨田区につながるのある歌舞伎のお話や、通常見ることのできないかつらや粉飾をせずに舞う素踊りを披露する。	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	坂東玉三郎 春風亭小朝 ほか
		演 目	歌舞伎「隅田川」や、江戸時代の歌舞伎狂言の作者鶴屋南北(墨田区業平の春慶寺にお墓がある)のお話と素踊り「黒髪」「葵の上」「ゆかりの月」「こすの戸」など(10-15分程度)
		料 金	調整中

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
5	<p>【名称】新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2025 in すみだ曳舟</p> <p>【時期】2025年1月4日(土)</p> <p>【企画趣旨】区民に新日本フィルを身近に感じてもらう企画。区北部の住民や、まちづくりの進展に伴い新たに住民となった聴衆層への拡大を目的に、落語と、ニューイヤースタイルの音楽を一緒に楽しめる内容とする。</p>	会 場	曳舟文化センター 劇場ホール
		指揮者	調整中
		出演者	五街道雲助[予定] 新日本フィルハーモニー交響楽団 田添菜穂子[司会]
		演 目	第1部 落語 第2部 オーケストラ
		料 金	全席指定 4,000 円 すみだ区割 3,200 円(20%Off) すみだ学割 1,000 円
6	<p>【名称】総合的芸術祭を見据えた区民に向けたアートイベント(仮)</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】新たなアートプロジェクトとして、区民を対象にしたコンサートを行う。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	調整中
		料 金	調整中
7	<p>【名称】新日本フィル特別コンサート(仮題)</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】新日本フィル協力のもと、特別企画を検討中。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	調整中
		料 金	調整中
8	<p>【名称】新日本フィル《映画音楽》コンサート(仮題)</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】映画音楽をフルオーケストラで楽しむコンサート。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
		演 目	調整中
		料 金	調整中
9	<p>【名称】オルガンに親しむコンサート</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】オルガンを気軽に鑑賞していただくコンサート。短い時間でお話し付きのコンサートを鑑賞していただくとともに、鑑賞後にオルガンに親しむためのプログラムを計画。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	調整中
		演 目	調整中
		料 金	調整中

■トリフォニーホール自主企画公演(4事業5公演)

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
1	<p>【名称】オックスフォード・フィルハーモニー管弦楽団</p> <p>【時期】2024年5月7日(火)</p> <p>【企画趣旨】海外オーケストラの東京公演のひとつとして、すみだトリフォニーホールで開催し、オックスフォード大学提携によるイギリス王室との交流、及びこれらに係る皇室関係の招待準備を設け初来日公演として企画する。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		指揮者	マリオス・パパドプーロス[音楽監督]
		出演者	HIMARI[ヴァイオリン] オックスフォード・フィルハーモニー管弦楽団
		演 目	メンデルスゾーン/交響曲第3番「スコットランド」 ほか
		料 金	S席 10,000 円 A席 9,000 円 B席 8,000 円 すみだ区割 7,200 円(28%Off) すみだ学割 1,000 円

NO	名称/時期/対象/企画趣旨	内 容	
2	<p>【名称】トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマスコンサート2024 第1回 0歳児からのオルガン・コンサート 第2回 しっかりじっくりオルガン・コンサート</p> <p>【時期】2024年12月22日(日)</p> <p>【企画趣旨】気軽に誰もが楽しめるパイプオルガンのコンサート。クリスマスにちなんだ曲やJ.S.バッハなど有名なオルガン作品を演奏。未就学児と一般の回を設け、新たな客層の開拓に繋げる。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	調整中
		演 目	調整中
		料 金	第1回:全席指定 1,500 円、 未就学児無料 第2回:全席指定 1,500 円
3	<p>【名称】鶴澤清治 三味線の世界(予定)</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】物語の情景や登場人物の心情などを巧みに表現する文楽三味線の音世界を現代最高峰の三味線奏者で人間国宝の鶴澤清治による卓越した切っ先の鋭い芸を余すところなく披露する。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	鶴澤清治[三味線]ほか
		演 目	文楽三味線の名曲ほか
		料 金	調整中
4	<p>【名称】すみだトリフォニーホールセレクション コンテンポラリー・シリーズ</p> <p>【時期】調整中</p> <p>【企画趣旨】ホールブランドを高める公演。世界的に活躍するアーティストを予定。</p>	会 場	すみだトリフォニーホール大ホール
		出演者	調整中
		演 目	調整中
		料 金	調整中

■新日本フィルとの共同主催・共催による公演

	実施時期	公 演 名	会 場
共同 主催	4月6日(土)	ファミリーコンサート2024(指揮:宮川彬良)	すみだトリフォニーホール 大ホール
	7月13日(土)	サマーコンサート2024(指揮:和田一樹)	
	12月31日(火)	ジルバスターコンサート2024(指揮:宮川彬良)	
	2025年1月3日(金)	ニューイヤーコンサート2025(指揮:未定)	
共 催	通年 8回16公演	名曲を中心とした定期演奏会 4月~3月「すみだクラシックへの扉」8回16公演	すみだトリフォニーホール 大ホール
	通年 7回7公演	定期演奏会 4月~3月<トリフォニーホール・シリーズ> 7回7公演	
	12月15日(日) 12月21日(土)	「第九」特別演奏会	

■その他共催公演(6公演程度)

実施時期	公演名	会場
8月4日(日)	辻井伸行×三浦文彰 ARK フィルハーモニック	すみだトリフォニーホール 大ホール
10月21日(月)	群馬交響楽団 東京定期演奏会	
12月5日(木)	ディズニー・オン・クラシック 2024	
12月7日(土)	アヌーナ特別公演(ケルティック・クリスマス 2024)	
2月8日(土)	エストニア国立男声合唱団	
2月19日(水)	サイトウ・キネン・オーケストラ プラス・アンサンブル	

※このほか、追加の予定あり。

2 区民の音楽活動の普及啓発・育成

(1) アウトリーチ事業

新日本フィルによる区立小・中学校での音楽指導事業や区内福祉施設等によるふれあいコンサートのほか、学校周年行事への協力など、アウトリーチ活動を以下のとおり実施する。

令和4年度から開始した、音楽療法を取り入れたアウトリーチ、中学校吹奏楽部のバンドクリニックを継続して実施する。

■区立小・中学校での音楽指導事業

内容	会場	実施数
新日本フィル楽団員が直接学校の教室や体育館などで、小中学生を対象に演奏を行う。楽器や音楽についての興味や理解を深め、音楽を身近に感じてもらう。	区立小・中学校 全校	通年 小学校 25校 中学校 11校

■新日本フィル楽団員による墨田区中学校吹奏楽部への音楽指導【音楽事業推進補助事業】

内容	会場	期間・実施数
墨田区立中学校全10校の吹奏楽部に、新日本フィル楽団員が演奏指導を行う。また、吹奏楽部顧問教諭向けに楽器奏法やメンテナンス方法をアドバイスする。	墨田区立中学校 全10校	期間:4月～3月 全10校×2～3回

■新日本フィル「音楽療育アウトリーチ」事業【音楽事業推進補助事業】

内容	会場	実施数
障害のある方に、音楽を届け、音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身機能の維持・改善、生活の質の向上などの実現を図る。専門家による検証も取り入れる。	区内小中学校 特別支援学級	通年 3校(予定)

■ふれあいコンサート

内容	会場	実施数
演奏会に来場する機会の少ない区民を対象に、新日本フィル楽団員が区内の福祉施設等に出向いて室内楽演奏を行う。	区内福祉施設等	通年 18か所程度

■墨田区立学校支援事業【音楽事業推進補助事業】

内 容	会場	実施数
区立小中学校が主体となって実施する周年行事などにおいて、新日本フィル楽団員による室内楽の鑑賞公演を支援する事業。	区内小中学校	通年 1校(予定)

(2) トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラの運営

次代を担う音楽家や芸術愛好家を育成することを目的に、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラを運営する。新日本フィルの楽団員がトレーナーを務め、高い技術の習得が可能であり、また、地域に深く根ざす活動を展開することで、子供たちの自主性・社会性を向上させる。

■トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ(演奏会2回程度)

実施時期	内 容
通 年	週1回程度の練習の実施
8月10日(土)	夏休みオーケストラ・コンサート(第36回演奏会)
3月23日(日)	第37回演奏会

※他追加の活動予定あり

3 区民の音楽活動の参加機会提供・支援

(1) 区民音楽祭の実施

区内音楽活動団体等に発表と交流の場を提供し、その活動を支援するため、各団体による自主的な公演実施運営を尊重し、トリフォニーホールは印刷物の制作、広報等の協力を行う。

■すみだ音楽祭(3日間)

期間・実施数	内 容	会場
8月18日(日) 8月24日(土)・8月25日(日)	区内アマチュア音楽活動団体にトリフォニーホールでの演奏機会を提供する。	すみだトリフォニーホール 大・小ホール

(2) パイプオルガンの演奏体験機会の提供

区民の財産であるパイプオルガンに身近に触れる機会を提供し、区民のホールやパイプオルガンとして親しみを感じてもらう。

■パイプオルガンに親しむ事業【音楽事業推進補助事業】

内 容	会場
区民向け「パイプオルガンを弾いてみよう!!」(各回6人) ・一回体験コース(4回) ・じっくり体験コース(2回)	すみだトリフォニーホール 大ホール
オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー 2024-2025 障害のある方、一般区民を対象に演奏鑑賞と舞台裏の見学を実施	

4 トリフォニーホール区民モニター制度

区民の声を反映させて事業展開を図るため、令和3年度から実施しているトリフォニーホール区民モニター制度を令和6年度も継続して実施する。年齢や居住地のバランスを考慮し選出した300名の区民モニターの幅広い視点から得た客観的な評価の信頼性や有効性を高めていく。また区民モニターとの連携をより深め、効果的なネットワーク展開へと繋げていく。

(参考) 令和5年度 調査内容 トリフォニーホールが主催する事業について

5 戦略的な広報活動と多彩なコミュニケーションツールを活用した情報発信

(1) 戦略的広報

あらゆる区民にホールを身近に感じてもらうため、現在進めている地元錦糸町の商店街(錦糸町を元気にする会)や区商連、商工会議所、地域コミュニティ、産業界、区民モニターとの連携を強化する。またまちづくりの進展に伴う新しい住民への情報提供により、区内に広範なネットワークを形成し積極的な広報活動を展開する。

(2) 情報発信

すみだ音楽大使で新日本フィル第5代音楽監督の佐渡裕氏との協力体制により、改めてホールの魅力を紹介し区民への周知を図る。建築、アート作品、パイプオルガン、音響特性などトリフォニーホールの独自性や優位性を発信し、SNSの利便性を活用した広報展開を図る。

また、まちづくりの進展に伴い新たに区民となった方々や子育て中の区民などへの情報提供を積極的に行う。公式ホームページ、Facebook、X、チラシ、ポスターなど、それぞれのメディア特性を活かした効果的な情報発信により、無料会員トリフォニーホール・チケットメンバーズの新規加入の促進を図り、新規来場者やリピーターの獲得を目指す。

6 施設の利用及び維持管理等に関する業務

質の高い安全・快適な施設運営を維持するため、委託業者との連携のもとで建物及び各種設備についての定期点検や日常点検を適切に行い、計画修繕を実施するなど、施設の良好な維持管理に努める。さらに、省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による施設コストの削減と、施設の安全管理の徹底、災害時や緊急時における必要な対策を講じていく。

(1) 施設利用に関する業務

ア 各施設の利用申請、承認、利用料金の徴収については、すみだトリフォニーホール条例及び同条例施行規則に基づき適正に処理をする。また、利用の適格性や利用申請の重複による優先順位を審査する「施設利用調整委員会」を定期的で開催し、公平かつ公正な施設利用に努める。

すみだトリフォニーホールの利用承認の取消に係る申出期間を定めた、墨田区規則第7条第1項別表のうち、大ホール及び小ホールに係る申出区分に関する以下のとおり改定に基づき、利用取消における利用料金の返還額について適正に処理する。

利用取消における返還額 <令和6年4月1日改正>

施設等の区分	申出区分	返還額
大ホール	利用日の6月前まで	全額
小ホール	利用日の3月前まで	
大ホール	利用日の3月前まで	5割相当額
小ホール	利用日の1月前まで	
練習室	利用日まで	全額
楽屋		
付帯設備		

イ 施設の利用者サービスの向上を図るため、ホールへの意見・要望の共有化やサービス改善への具体的検討を行う、ホールスタッフによるミーティングを定期的で開催する。

ウ 利用者が安心して利用できる施設環境を維持するため、施設内外の巡回、設備機器等の点検により安心・安全の確保を図る。また、急病人・怪我人等の事故が発生した場合の迅速な処理に努めるほか、地震・火災等に備え、消防計画に基づき消防訓練を実施するとともに、錦糸町第3街区4棟共同防火管理協議会の地区隊にも所属していることから、他の隊と協力して消防訓練を実施する。

エ ホールの舞台運営については、経験豊富な専門スタッフが舞台機構、舞台照明、舞台音響の各種舞台設備を安全かつ効率的に管理運営するとともに、ホールの優れた音響などの特性を活かせるよう、施設利用者に適切なアドバイスやサービスを提供しサポートする。

オ 大ホールの公演時における来館者に対するサービスとして、洗練されたホールスタッフをホールの「顔」として配置し、客席案内等の業務を遂行するほか、引き続き感染対策を実施するなど、来館者が安全かつ安心して公演を鑑賞できるよう、サービスを提供する。

(2) 施設設備の維持管理

当ホールが多くの来館者が集う公共施設であることから、安全で快適なホール環境の維持に努めるとともに、コンサートホールに相応しい適正な維持管理を行う。

また、各種設備については、日常的に点検を行い、劣化及び破損等の状況を常に把握するとともに、必要に応じて小規模修繕等を実施し、設備の機能維持及び安全の確保に努めていく。省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化による運営コストの削減と、施設の安全管理の徹底、災害時や緊急時における必要な対策を講じていく。

II すみだ北斎美術館を核とする美術等の振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、社会経済活動が着実に正常化への歩みを進める中、令和5年6月に入館者 100 万人を達成した当館は、これまでの運営で培った経験・ノウハウ等を活かしながら、さらに充実した管理運営を行っていく。

北斎を核とした墨田区の文化芸術振興施策の重要拠点として、区と連携しながら当館の魅力を広く発信し、質の高い多様な展覧会や利用者満足度の高いイベントや教育普及活動を企画・実施し、来館者の裾野を拡げる。併せて、近隣施設等とのネットワーク構築による事業を展開する。

また、国内外からの来館者、特に令和5年度中から増加傾向が顕著な海外からの来館者サービスを充実させ、国際交流の一助となるよう北斎を通じた日本文化紹介にも努めていく。

- (1) 葛飾北斎の専門美術館として高いクオリティを持った事業を展開する。北斎とその門人やゆかりのある人物の資料等を活用した魅力ある展覧会を実施することで、北斎の偉大な業績を顕彰し、情報を発信していく。
- (2) 館の展示事業・普及事業、また、地域の各種団体や文化施設との連携を通じて、教育・産業・観光面から、墨田区の活性化に寄与していく。
- (3) 北斎の生誕地に開設された美術館としての注目度をさらに高めるために国内外に向けた情報発信と交流を促進し、これまでに友好協力協定を締結した美術館との連携をはじめ各事業における国際交流の取組み・連携を一層推進する。
- (4) 安全な施設運営と、区民の財産である収蔵資料を適切に保管するため、日常点検及び法定点検を着実に実施し、必要な予防措置や修繕を的確に実施する。
- (5) 国内利用者だけでなくインバウンドも含めコミュニケーションを大切にし、常に利用者の目線に立ち、学び、楽しめる居心地の良い施設環境の維持とサービスの提供に努める。
- (6) PDCA サイクルによる業務改善を進めて、社会情勢の変化に対応できる施設運営を行う。

1 資料収集・保管事業

区の収集方針に従い、学芸員が専門性を活かしながら積極的に資料を探し出し、候補資料の調査から収集まで全面的に協力し作品収集に貢献する。また、浮世絵及び関連資料を次代へと受け継げるよう適切に収蔵品を管理・保管する。

2 調査研究事業

北斎を中心にその門人の作品や関連及び交流のあった人物、すみだをはじめとする北斎ゆかりの地との関わりなど、多角的な視点から調査研究し、その成果をデータベースに反映させ情報の蓄積を図り、展示や刊行物を通じて一般から専門家まで広く情報を発信していく。

【調査・研究の対象と視点】

- ・ 北斎のすみだをはじめとするゆかりの地との関わりについて

- ・ 北斎とその門人の肉筆画・版画・版本等の作品の調査・研究
- ・ 北斎と同時代の文化との関連の研究
- ・ 浮世絵の歴史と北斎に関わる研究

3 展示事業

調査研究の成果を背景に、公開と保存のバランスを図りながら、来館者満足度の向上につながる持続可能で質の高い展示事業を実施する。

(1) 常設展示

北斎の生涯について実物大の高精細レプリカ作品と情報端末でわかりやすく紹介し、北斎の基本を学ぶ展示、新鮮な出会いのある展示、多様なニーズに対応した展示を目指していく。

(2) 常設展プラス

4階企画展示室を企画展示で使用しない期間にミニ企画展(常設展プラス)を実施し、来館者に対してオリジナル作品の鑑賞機会を広げる。これまでの絵手本の展示に加え、版画などの展示コーナーを新設する。

(3) 企画展示

令和6年度は年間4回の企画展を開催する。作品保護に影響が生じないよう細心の注意を払いつつ、魅力的な企画内容で来館者の満足度を高める。また、北斎及び浮世絵の魅力を世界に発信するとともに、次年度以降の当館運営の充実に向けて、新しい展覧会企画を研究する。

特別企画である「北斎 グレートウェーブ・インパクト―神奈川沖浪裏の誕生と軌跡―」展は、新しい千円札の図案に同作品が採用されたことを記念した企画で、館蔵品の北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」をはじめ、他の博物館等から借用した貴重な資料を展示し、浮世絵愛好家のみならず幅広い層への訴求を図る。

■企画展示の年間計画

展覧会名	歌舞音曲鑑 北斎と楽しむ江戸の芸能
開催期間	4月2日(火)～5月26日(日)【48日間】 ※前年度より継続
展示概要	北斎は勝川派を離れてから役者絵を描いていないとされるが、浄瑠璃や踊りなど芝居に関連する作品は思いのほか多く残されている。北斎が描いた歌舞伎とその周辺の芸能をモチーフとした作品を展観する。当館初展示の作品も多数紹介する。
展示点数	約100点
主な展示資料	葛飾北斎「かしく 岩井半四郎」「浮絵元祖東都歌舞岐大芝居之図(版画)
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	約25,000人見込

展覧会名	北齋 グレートウェーブ・インパクト―神奈川沖浪裏の誕生と軌跡―
開催期間	6月18日(火)～8月25日(日)【60日間】
展示概要	令和6年7月の新札発行を記念する企画。千円札の裏面の図柄に、北齋の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」が採用されたことにちなみ、同作品がどのような背景で誕生し、その図柄がどのように利用され、海外で「グレートウェーブ」の通称で親しまれているのか、その影響と広がりを紹介する。
展示点数	約140点
主な展示資料	葛飾北齋「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」「賀奈川沖本壺之図」(版画)
観覧料	一般 1,500円
観覧者数	約39,000人見込
展覧会名	北齋が紡ぐ平安のみやび - 江戸に息づく王朝文学
開催期間	9月18日(水)～11月24日(日)【59日間】
展示概要	北齋とその一門は、平安時代の貴族の生活や文学を題材とした作品も多数描いている。本展では、北齋や門人が描いた宮廷人や『源氏物語』をはじめとする宮廷文学を題材とした作品、また文学作品などのモチーフが文様として使われた道具が描かれている作品を展覧し、北齋の発想力や画業の幅広さを伝える。
展示点数	約80点
主な展示資料	葛飾北齋「貴人と官女図(肉筆画)」、「風流源氏うたがるた」(版画)
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	約33,000人見込
展覧会名	(仮称)北齋カレンダー
開催期間	12月19日(木)～3月2日(日)【59日間】
展示概要	北齋とその門人の摺物、特に絵暦を紹介する展覧会。私的な配り物として制作された摺物には、その年の大小の月を忍ばせた現在のカレンダーのような絵暦がある。本展では、江戸の人々が謎解きのように楽しんだであろう絵暦作品と、絵暦以外の摺物の名品なども展示し、浮世絵の一形態である摺物に親しんでもらう。
展示点数	約80点
主な展示資料	葛飾北齋「玩具を選ぶ母子」「年札」(摺物)
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	約30,000人見込
展覧会名	(仮称)館蔵品展
開催期間	3月18日(火)～3月30日(日)【12日間】 ※令和7年度への継続事業
展示概要	未定
展示点数	未定
主な展示資料	未定
観覧料	一般 1,000円
観覧者数	約7,000人見込

4 教育普及事業

北齋や浮世絵などへの理解促進を図ることを基本としながら、美術館活動への理解と地域や郷土を愛し誇りとする心を育むことを主眼にした教育普及活動を展開する。併せて、次世代育成や文化振興も視野に入れた活動、繰り返しの来館を促す視点でのプログラムづくりにも取り組む。

(1) 教育普及活動の体系化(館に親しみを持つ層の拡大)

- ・ 講演会、スライドトークやワークショップなど、多彩な一般向けプログラムを実施する。
- ・ 低廉な参加費(例:教材等の実費相当分)のプログラムも検討する。
- ・ 定番となるプログラムの定期的な実施を視野に入れ、来館の誘発につながる企画を検討し、児童・生徒等が楽しめるプログラムを開催する。
- ・ 地域振興プログラム、外国人対応プログラム、アウトリーチプログラム等の実施も検討する。

(2) 児童・生徒及び教育機関に対する取組み

- ・ 区内及び区外の学校に出向いて、北斎の基礎的な情報を伝える講座や、北斎を学び体験する授業等、校種・学年に応じたプログラムを実施する。
- ・ 教育委員会や教育研究会と連携し、学校の団体利用に対して学芸員が出前授業等を積極的にを行い、北斎や展示内容について講義や解説を行う。

(3) 地域との結びつきを深める取組み

- ・ 墨田区の文化振興事業と連携して、美術館を地域の文化活動の拠点として活用するような活動の推進を図る。
- ・ イベントパートナー制の導入や、地元団体等との協働により、地域の活性化につながる活動を展開する。

5 図書室運営事業

北斎に関する専門図書室として所蔵資料の情報を適切に整理し、多様な利用者の興味や関心に答えられるよう、閲覧室(開架)と書庫(閉架)を併用したサービスを行う。閲覧室(開架)では手に取りやすい一般書籍や北斎図録を中心として閲覧に供し、貴重書は閉架書庫にて保管する。

併せて、展覧会に応じた特設コーナーを設けるなど、誰もが入室しやすい環境を整えて「開かれた図書室」を目指す。

【業務内容】

- ・ 図書資料の収集、整理、保存、閲覧サービス、レファレンスサービス、複写サービス等
- ・ 専用情報システムによる収蔵図書資料に関する情報提供

6 施設の機能向上・貸出し、維持管理に関する業務

【施設の機能向上】

これまでチケット販売窓口において、外国人旅行者のニーズが高いクレジットカード決済や、国内でのシェアが大きいICカード決済・QRコード決済を導入し、利便性の向上を図ってきた。加えて、令和6年度にはオンラインチケットを導入し、決済手段をさらに充実させるとともに、より快適な鑑賞環境の確保に努める。

【施設の貸出し】

講座室については、館の事業で使用するほか、利用を希望する個人・団体に対し、関連規程及び、館の管理運営上の要件を満たす範囲で、積極的に貸出しを行っていく。

【施設の維持管理】

開館8年目に入り、定期的なメンテナンスが必要となっているため、適切な時期に1週間程度の休館期間を設けてメンテナンスを行う。

日常的には、貴重な資料を収蔵・展示する施設として、施設管理、清掃、警備等の業務を豊富な実績と経験を有する第三者に委託し、適切に施設管理業務を行う。併せて、集客施設としてのホスピタリティをより高めていくために、受付・案内業務について繁閑等の状況に応じて、配置ポストをフレキシブルに調整するなどの対応を図る。

III 墨田区域における文化芸術活動の支援事業

墨田区の様々な文化芸術活動や拠点に関する情報を収集・発信し、本区に活動拠点を置く文化団体やアーティスト等の活動を支援することを目的として助成事業やサイト運営等を行う。併せて、すみだ北斎美術館の開館を契機に始まったアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」(通称:すみゆめ)の実行委員会事務局を担い、事業の円滑な推進を図る。

助成事業や「すみゆめ」等を通じて、本区を中心とする多彩な文化芸術活動の動向を把握し、文化団体やアーティスト等からの相談に応じて、それぞれの活動が充実するよう助言や情報提供などを行う。墨田区域に多くの文化芸術活動の担い手が集い、相互にネットワークが形成され、幅広い分野で新たな活動が展開されるよう、その基盤整備に努めていく。

1 すみだ文化芸術活動助成事業

区民の文化芸術活動の活性化と促進を図るため、区内に活動拠点を置く文化団体を対象とした育成事業で、翌年度に行われる活動を広く募集し、助成金交付のほか各種支援を行う。令和6年度の早期の事業実施に対応するため、活動の募集及び選考は令和5年度中に行った。

幅広い分野や団体からの申請があるよう、情報発信に努め、公募段階における申請者からの相談対応に取り組む。選考委員による採択活動の現地視察や評価アンケートを行い、活動実施後には個別面談を実施して、各団体や活動の実態と課題を把握する。また、助成団体と選考委員等が一堂に会する報告会を行い、本事業の成果を検証するとともに、制度の改善に反映させていく。

■実施概要

- ・ 助成対象:5人以上で構成される団体で、区民が主体となって活動していること。区内に主たる事務所又は活動拠点を有し、原則として、区内で1年以上の活動実績があること。
- ・ 助成金額:対象経費の合計額の2分の1以内で、100万円を上限とする。
- ・ 令和6年度助成予定:補助金総額 500万円、交付対象 10件程度(申請件数 15件)

2 「すみだ文化芸術情報サイト」の運営

墨田区の文化芸術情報の収集・発信を行うべく、本サイトでは、区内の官民の文化施設及び文化拠点、区内に活動拠点を置くアーティスト・文化団体の情報を登録方式で集約するとともに、登録者が区内で行うイベント情報を掲載している。

現在の登録者数は185件で、近年は微増傾向にあり(現在170件)、うちアーティストが61件、文化団体が55件、民間の文化施設が50件となっている。イベント情報については、登録者それぞれに掲載するほか、助成事業や「すみゆめ」との連動、文化団体等が発行するメールニュースからの転載などにより内容の充実を図っており、掲載数・閲覧数ともに堅調に推移している(掲載数:82件、閲覧数 58,867PV、令和5年4月1日-令和6年2月24日)。引き続き、社会の情勢や文化芸術関係者のニーズに合った情報の充実を努めるとともに、様々な機会を通じてサイトへの情報掲載を促し、より魅力的で活用されるサイトとなるよう努めていく。

3 文化政策及び文化事業に関する調査

「墨田区における文化芸術振興のあり方検討調査」(平成30年度)に基づき、財団の中間支援機能を高めるために、国や東京都ほか自治体の文化政策及び芸術祭等の実態について情報収集を行う。また、これら施策の動向を踏まえ、財団自らが取り組む事業への反映や改善に向け、必要に応じて、財団アドバイザーボードや文化政策の研究者等から意見を聴取する。

4 アートプロジェクト等の推進事業

令和6年度も秋のメイン期間を中心に、アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」を実施するため、実行委員会の事務局運営を財団が担う。本プロジェクトでは「北斎」「隅田川」を主なテーマに、地域資源を活用する多彩な表現活動を募集し、補助金の交付や技術支援等を含め、企画の実現に向けて事務局が伴走する。また、参加団体や地域とのネットワーク形成を促す機会を設けるとともに、交流イベントや祝祭感ある企画を実行委員会の主催で行う予定である。

これまで8年間の実績を踏まえつつ区民等による主体的な活動を側面からサポートし、様々な場とNPOやアーティスト等文化芸術の担い手をつなぐことで、すみだの地域資源を顕在化させ、その魅力を高めていくことを目指す。

5 地域における文化芸術活動への協力及び参加

助成事業や「すみゆめ」等に関わる文化団体やアートNPO等に限らず、区内及び墨田区近隣で行われる文化芸術活動の状況を把握し、それら担い手との交流と情報の蓄積に努める。東京藝術大学大学院が主催する文化政策に関する勉強会や、東京都建設局河川部が推進する「隅田川サポーター」、アーツカウンシル東京が当地域で取り組んできた「東京アートポイント計画」の成果の継承など、必要に応じて地域における文化芸術活動に協力・参加していく。